

(1) 基本的な取組方針

■今年度の特徴

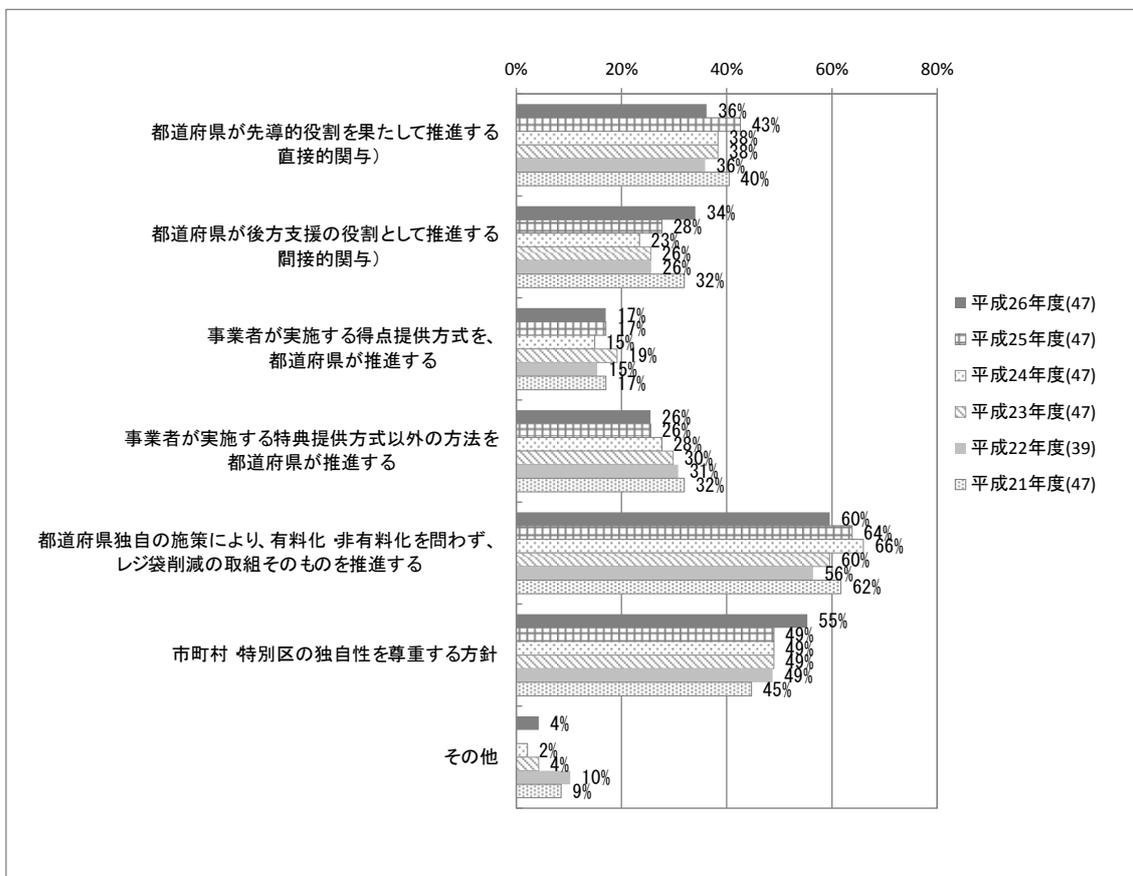
「都道府県独自の施策により有料化・非有料化を問わず、レジ袋削減の取組そのものを推進する」が最も多く、次いで「市町村・特別区の独自性を尊重する方針」が続いている。

■トレンド

「都道府県独自の施策により有料化・非有料化を問わず、レジ袋削減の取組そのものを推進する」は、高い水準で推移している。

「都道府県が後方支援の役割として推進する（間接的関与）」と「市町村・特別区の独自性を尊重する方針」が、増加傾向にある。

都道府県の取組方針（複数回答）



- 「都道府県独自の施策により有料化・非有料化を問わず、レジ袋削減の取組そのものを推進する」が 28 件（60%）、「市町村・特別区の独自性を尊重する方針」が 26 件（55%）、
「都道府県が先導的役割を果たして推進する（直接的関与）」が 17 件（36%）、「都道府

県が後方支援の役割として推進する（間接的関与）」が 16 件（34%）、「事業者が実施する特典提供方式以外の方法を都道府県が推進する」が 12 件（26%）、「事業者が実施する得点提供方式を、都道府県が推進する」が 8 件（17%）、「その他」が 2 件（4%）となっている。

○ 「その他」の内容としては、次のとおり。

自治体	取組内容
岡山県	レジ袋削減について、事業者、県、市町村、消費者団体等あらゆる方面での取組を直接的、間接的に推進し、連携して取り組む。実施に至っていないが、項目 1 の有料化を目指しては、先導的役割を果たしていく方向ではある。
神奈川県	本県では、「神奈川県におけるレジ袋の削減に向けた取組の実践に関する宣言」の下、事業者、市町村、消費者団体等各種団体及び県が参画、協働し、レジ袋削減の取組を推進しています。この宣言に基づくレジ袋削減の取組とは、有料化のみならず、辞退者の値引き、ポイントの付与、声掛けの実施、ポスター掲示等、様々な活動を推進しています。また、本県では、レジ袋削減に積極的に取り組む地域を「モデル地域」に指定し、モデル地域における活動を積極的に PR することにより、レジ袋削減の取組が県内各地で展開されることを目指しています。